

最新の研究成果を、分かりやすく解説

第13回

PIASセミナー

次世代創薬技術「標的タンパク質分解」を加速 ～ DCAF タンパク質群の相互作用ネットワークを解明～

愛媛大学先端研究院プロテオサイエンスセンターの山中聡士特定助教、澤崎達也教授、徳島大学先端酵素学研究所の小迫英尊教授らの研究グループは、細胞内のタンパク質分解機構に関わるDCAF (DDB1-AND CUL4-ASSOCIATED FACTOR) ファミリーの機能を網羅的に解析し、各DCAFが関与するタンパク質相互作用ネットワーク（インタラクトーム）を体系的に明らかにしました。

本研究では、研究グループが開発した近接タンパク質標識技術「AIRID」を用いた大規模プロテオミクス解析により、約60種類のDCAFタンパク質の周囲に存在するタンパク質群を細胞内で網羅的に同定しました。さらに、生化学的解析および細胞生物学的解析を統合することで、標的タンパク質分解薬の開発に適したDCAFを提案しました。本研究成果は、近年注目されている創薬戦略「標的タンパク質分解 (TARGETED PROTEIN DEGRADATION: TPD)」を加速するた

めの研究基盤となるものであり、次世代創薬アプローチの可能性を大きく広げる成果です。

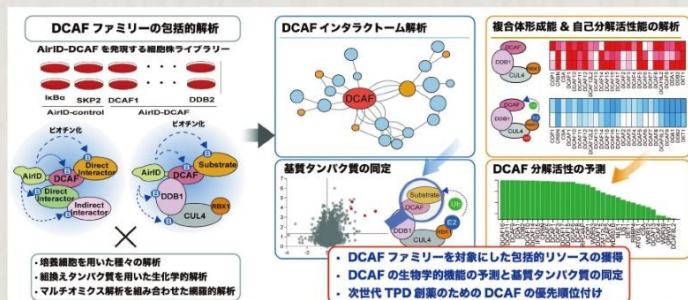
本研究成果は、2026年4月3日付で米国科学誌「MOLECULAR CELL」に掲載されました。



山中 聡士
特定助教

愛媛大学先端研究院
プロテオサイエンスセンター

PROS
Proteo-Science Center, Ehime Univ.



どなたでもご参加いただけます

オンライン開催

セミナーのログイン情報は、EU_BBSをご覧ください。
学外の方は事前に参加登録をお願いいたします。

2026 **6/3** 水
16:00~16:30

eu-PIAS

〈お問い合わせ〉

愛媛大学 先端研究院 先端研究高度支援室
E-mail: pias_adm@stu.ehime-u.ac.jp

参加申込フォーム

